



アドリッキング脳科学研究センター  
芸術文化学部 芸術院  
コラボレーション



## Derivation〜Cloud〜

長田 堅二郎

10×75×75 cm

ステンレス

本作品は脳内のニューロン（神経細胞）をモチーフに、ステンレス線材を溶接により樹状形状に構成した作品である。ニューロン自体は増えることはないが、つながり合いながら複雑なネットワークを構成している。本作ではアドリッキング状態により更新されていくイメージの変化を、日々の情報が作品に与える変化として捉え、感覚的に生み出されたパーツ形状を意識的に組み換えながら、最終的な彫刻の姿へと導いた。その姿はまるで、気象衛星画像にみる雲の移り変わる様であり、脳内と世界とのフラクタル的類似を示しているのかもしれない。